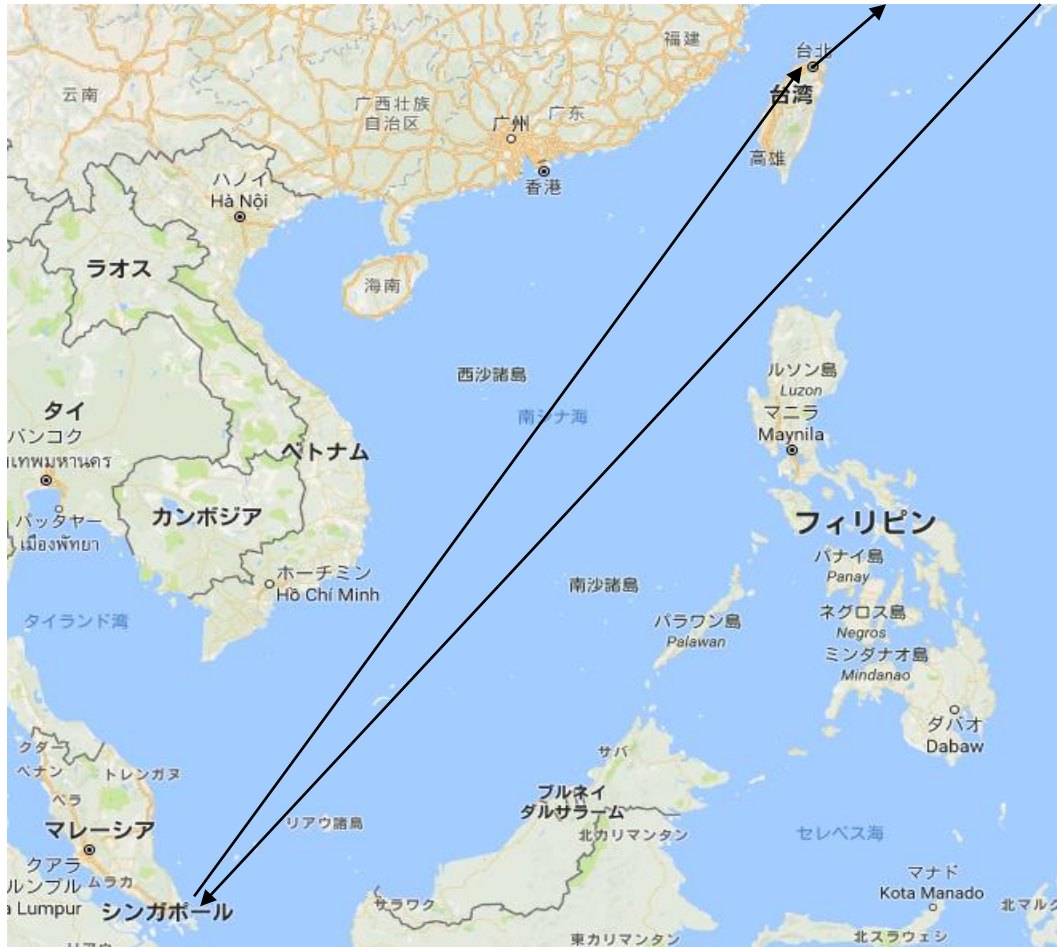


富山経済同友会  
第7回（平成29年度）海外教育事情視察  
募集要項

海外視察先：シンガポール、台湾

視察期間：平成29年8月16日（水）～8月22日（火） <7日間>



富山経済同友会では、教員の皆さんを対象に、海外で先進的に取り組まれる教育現場や教員養成の実情などを視察し、その経験を帰国後の学校現場で役立てていただくことを目的に、平成20年から「海外教育事情視察」を実施しております。

視察には、当会メンバーも参加し、教員の皆さんとの交流を通じて、県民みんなで育てる学校教育の推進に貢献したいと考えています。

富山県の教育を担う、高い志を持った多くの教員の皆さんのご参加をお待ちしております。

主 催 : 富山経済同友会

後 援 : 富山県教育委員会

# 富山経済同友会 第7回（平成29年度）海外教育事情視察

## 実 施 要 項

1 訪問国 シンガポール、台湾

2 視察期間 平成29年8月16日（水）～8月22日（火）までの7日間

### 3 視察目的（テーマ）

- (1) 富山県の現役教員がシンガポール、台湾における教育、芸術、歴史・文化や社会事情などを視察することにより、教員としての視野を広げ今後の教育実践に役立ててもらうとともに、人間力・教育力を向上させ、富山県教育をリードする中核的な教員となるよう育成を図る。
- (2) 企業経営者である当会会員も視察に参加することにより、教員と問題意識を共有し、経済界と学校教育との交流や連携を図る。

### 4 視察日程

別紙1のとおり

（視察等の日程や交通機関、発着時刻は変更になる可能性があります。）

### 5 募集の対象者及び人数

富山県内の公立学校教員 10名

※ 富山経済同友会の会員と合同で視察します。

### 6 費用

別 途

### 7 申込、選考等

- ・ 所定の参加申込書（別紙2）に必要事項をご記入のうえ、富山経済同友会事務局宛に郵送ください。なお、申込用紙は、富山経済同友会ホームページからダウンロードできます。 **申込締切 … 平成29年5月30日（火）〈厳守〉**
- ・ 提出された参加申込書に基づき、今回の視察研修にふさわしい方を書類選考いたします。選考結果は、**6月中旬**に本人あて通知いたします。  
なお、書類選考の結果、募集人員に満たない場合があります。
- ・ 参加決定者には、スケジュールの詳細を送付するほか、説明会を開催いたします。

#### 【申込書送付及び問合せ先】

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 インテックビル4階

富山経済同友会 事務局 海外研修担当 行

TEL 076-444-0660

FAX 076-444-0661

# 第7回 海外教育事情視察 日程表(案)

別紙1

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	スケジュール 【宿泊地】	食事
1	8月16日 (水)	富山空港発 羽田空港着 羽田空港発 シンガポール着	7:10 8:15 11:05 17:25	NH312  NH841 専用車	空路 羽田空港へ  空路 シンガポールへ(全日空) 着後 ホテルへ【時差▲1時間あり】  【シンガポール 泊】	昼:機内食 夕:レストラン
2	8月17日 (木)	シンガポール	午前  午後	専用車	<b>教育事情視察</b> 現地学校等訪問  現地学校等訪問  【シンガポール 泊】	朝:ホテル 昼:レストラン 夕:レストラン
3	8月18日 (金)	シンガポール	午前  午後	専用車	<b>教育及び経済・社会・文化事情視察</b>  シンガポール市内など視察  【シンガポール 泊】	朝:ホテル 昼:レストラン 夕:レストラン
4	8月19日 (土)	シンガポール シンガポール発 台北(桃園)着	11:55 16:40	専用車 SQ878 専用車	空港へ移動 空路 台北へ(シンガポール航空) 着後 ホテルへ【時差なし】  【台北 泊】	朝:ホテル 昼:機内食 夕:レストラン
5	8月20日 (日)	台北	午前  午後	専用車	<b>教育及び経済・社会・文化事情視察</b>  台北市内など視察  【台北 泊】	朝:ホテル 昼:レストラン 夕:レストラン
6	8月21日 (月)	台北	午前  午後	専用車	<b>教育事情視察</b> 現地教育機関等訪問  現地教育機関等訪問  【台北 泊】	朝:ホテル 昼:レストラン 夕:レストラン
7	8月22日 (火)	台北(松山)発 羽田空港着 羽田空港発 富山空港着	13:30 17:45 19:50 20:45	専用車 NH852  NH321	<b>教育及び経済・社会・文化事情視察</b>  台北市内で視察等 視察後空港へ 空路 羽田空港へ(ANA) 着後 入国手続き 空路 富山空港へ 着後 解散	朝:ホテル 昼:機内食 夕:各自

ご注意: 発着時間、交通機関等は変更になる場合がございます。なお、視察地は例示です。

## <各国の教育事情>

### シンガポール共和国

#### ●現地の教育の概要と特色

学校制度	6・4(又は5)・2(又は3)制
義務教育期間	プライマリースクール(小学校)は、2003年より義務付けられている
学校年度	1月2日～11月20日(2015年度の例。以下同じ)
学期制	【2学期制】 1期/1月2日～3月13日、3月23日～5月29日 2期/6月29日～9月4日、9月14日～11月20日
就学年齢基準日	その年の1月1日の時点で満6歳になっている者は、同年1月の新学期にプライマリースクール1年生として入学する。
教育概要・特色	<p>シンガポールでは1980、81年に教育制度の改革が行われ、小学校教育6年間、中学校教育4年間、高校教育2年間の制度が完成した。原則的に6・4・2制をとってはいるが、進むコースによって修了年限が異なる。また、このコースは固定的なものではなく、随所にコース変更を行えるチャンスが与えられている。小・中学校は週5日制、小学校は午前と午後の2部制である。1年が4期に分かれ、それぞれのタームの間には短期・長期の休暇があり、年間200日の登校が定められている。シンガポールの教育の最大の特色はバイリンガル教育を重視している点で、英語以外に母語(中国語、マレー語、タミール語)の授業がある。そのため、ほとんどのシンガポリアンが2カ国語以上を話せるように教育されている。</p> <p>小学校6年生終了時に初等教育修了試験(P S L E)が行われ、また中学校卒業時と高校卒業時には、それぞれ GCE"N"(Singapore-Cambridge General Certificate of Education Normal)または"O"(Ordinary)レベル、GCE"A"(Singapore-Cambridge General Certificate of Education Advanced)レベルの試験があり、その成績により進学コースが決定される。</p> <p>日本のPTAに相当する組織化されたものはないが、学校によってはPTC(Parents and Teachers Conference)が設けられている。</p> <p>2011年1月現在20校の特別教育校が障害児のためにある。私立では、Genesis School for Special Education、Kits4Kids Special School、St.Clar School for Special Education など、インターナショナルスクールでは、Dover Court International School に特別教育部がある。</p>

## ●現地の学校段階別教育の概況

### 1. 就学前教育

2歳～4歳対象の保育園(Child Care Centre、Nursery School)、5歳～6歳対象の幼稚園(Kindergarten)がある。いずれも義務ではない。授業は英語と母語(中国語・マレー語・タミール語のいずれか)の2言語にて行われる。言語の他には算数を学習する。費用は施設によって異なり、月額600シンガポールドルから1,000シンガポールドルと、幅がある。

### 2. 義務教育

2003年よりプライマリースクール(小学校)への就学が義務付けられた。午前と午後の2部制になっている。

#### 義務教育の学校段階種類および就学状況

小学校教育：6歳～11歳、Prim1～Prim6

#### カリキュラム・教授言語

6年生時に卒業試験(PSLE)がある。

#### 義務教育段階の学費

シンガポール国民、永住権保持者(P R)、帯同査証保持者(D P)など持っている滞在資格によって学費は異なる。

政府と政府補助の学校における外国人生徒、永住権保持者の学費は、2015年は次のとおり。

外国人生徒：

プライマリースクール：S\$500

セカンダリースクール：S\$650

プレユニバーシティ：S\$1,000

永住権保持者：

プライマリースクール：S\$90

セカンダリースクール：S\$120

プレユニバーシティ：S\$160

授業料のほかに、雑費として下記の額を払う必要がある。さらに教科書代が別途必要。(学校によって学費、雑費は異なる場合があるので詳細は各学校へ要問い合わせ) プライマリー：S\$13,セカンダリー：S\$20,プレユニバーシティ：S\$27。

## 台湾

### ● 現地の教育の概要と特色

学校制度	6・3・3・4 制
義務教育期間	6 歳～18 歳（国民小学校 1 学年～高級中学校（高等学校）3 学年）
学校年度	8 月 1 日～7 月 31 日
学期制	【2 学期制】 上 学 期 8 月 1 日～1 月 31 日 下 学 期 2 月 1 日～7 月 31 日
就学年齢基準日	その年の 8 月 31 日までに満 6 歳になった者が、同年の 9 月 1 日に入学。
教育概要・特色	現行の教育制度は、「中華民国憲法」（第 195 条）の教育機会均等の規程に基づくもので、就学率は 100%に近い。教育の目的は、「国民の民族精神、自治精神、国民道徳、健全な身体と科学及び生活知能を發展させる」と記載されている（憲法第 158 条）。 近年、台湾では、競って進学率の高い学校に入学しようとする傾向にあり、所謂学歴社会になっている。

### ● 現地の学校段階別教育の概況

#### 1. 就学前教育

入園義務はないが、都市部ではほとんどの子供が幼稚園に通っている。公立幼稚園は、就学前教育として国民小学校に併設される傾向にあるが、その数は未だ全体の 3 割程度に過ぎず、私立が 7 割を占めている。対象年齢は 3～5 歳で、費用は公立が月額 5,000 台湾元程度（諸費用を含む）、私立が月額 15,000～30,000 台湾元。就学率は約 55%（2014 年度）。

## 2. 義務教育

義務教育は、国民教育と呼ばれる国民小学校 6 年間と国民中学校 3 年間及び 2014 学年度より高級中学校(高等学校)3 年間の計 12 年間となっている。

12 年義務教育制度は教育普及、授業料無料及び入試免除を基本として実施されている。現在、国民小学校から国民中学校までの授業料は無料である（但し、教科書は有料）。なお、2014 年度から、毎年高級職業中学校の授業料無料化が進められている。普通高級中学校については、1 世帯の年収が 148 万元未満の場合、授業料が無料になる。

<b>義務教育の学校 段階種類および 就学状況</b>	国民小学：6 歳～12 歳、1 年生～6 年生、就学率 98.8% 国民中学：13 歳～15 歳、1 年生～3 年生、就学率 99.2% 高級中学及び高級職業中学：16 歳～18 歳、1 年生～3 年生、就学率 99.6%（2014 年、教育部統計）
<b>カリキュラム ・教授言語</b>	言語は、北京語。教育部が定めた「国民小学課程標準」と「国民中学課程標準」の規程などに基づき時間割が作成される。教科は、国語、数学、社会と自然（国民小学低学年は「生活」）、英語、音楽、体育、健康教育、美術、コンピュータ、郷土（台湾語等）、団体活動などで、土、日曜日は休校となる。なお、2014 学年度より「12 年国民基本教育課程綱要総綱」を公布し、国民小学校（6 年）・国民中学校（3 年）、高級学校（3 年）の 12 年一貫教育カリキュラムが実施されている。
<b>義務教育段階の 学費</b>	支払通貨名：新台湾ドル 支払通貨円レート：3.8 【授業料】 無償 【その他の費用】 PTA 会費：120 台湾元/1 年、給食費：50 台湾元/1 食